

様式1号
(総括票)

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	ニチコン製箔株式会社 大町工場							
代表者名	氏名	手塚 修司	役職名	代表取締役 大町工場長				
主たる事務所の所在地	長野県 大町市 社 8 2 2 4 番地 1							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	2899 その他の電子部品・デバイス・電子回路製造業						
主たる事業の概要	アルミニウム電解コンデンサ用 電極箔の製造							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	25,694	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	4	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

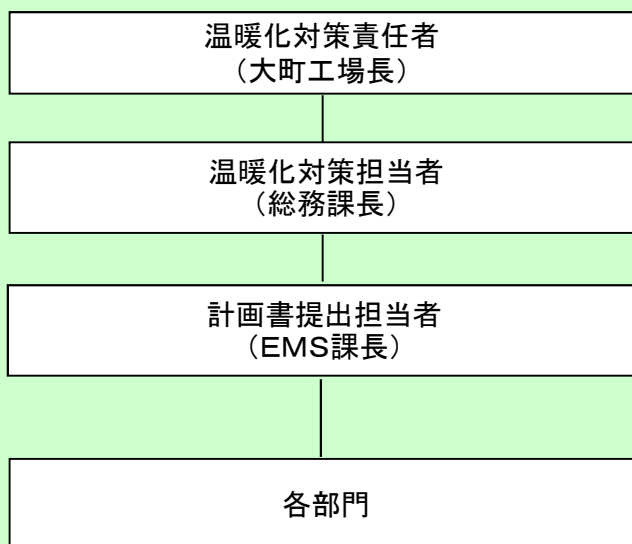
<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	EMS 事務局にて保管、必要に応じて閲覧。 対応可能時間 平日 9:00～16:00
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

ニチコン製箔株式会社大町工場は雄大な北アルプスを背景とした自然環境に恵まれた安曇野の地で、「地球との共生」を目指し、持続的発展と工場活動に係わる全ての人々が環境に配慮して、地球環境の保全に貢献することを基本理念とする。

- ・エネルギーの効率活用と節減に努める。
- ・環境汚染防止、資源の有効活用を図るため、廃棄物の削減とリサイクルに努める。
- ・文章類の電子化及び用紙の有効利用を図り、用紙使用量の削減に努める。
- ・開発段階から資源の有効利用、各種法規制等に定める使用禁止物質、削減物質について配慮を図る。
- ・緑化維持・向上を図る。
- ・生物多様性の保全に努める。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	49,362	t-CO ₂	生産重量	3,903	単位	t	
25年度	調整後排出量	39,830	t-CO ₂	基準原単位	12.65	t-CO ₂ /	t	
目標年度	目標排出量	48,621	t-CO ₂	目標原単位	12.46	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	目標削減率	1.50	%	目標削減率	1.50	%		
目標設定に関する説明	環境マネジメントシステムの運用により、年平均0.5%の削減を目標とする。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	49,236	t-CO ₂	生産重量	3,891	単位	t	
	調整後排出量	48,974	t-CO ₂	原単位	12.65	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
26年度	削減率	0.25	%	削減率	0.00	%		
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量自体は、基準年度比較し生産重量が微減したこともあり、0.25%低下しました。生産重量当たりの原単位としては、ほぼ同等となりました。生産品種影響並びに減産による直接生産に寄与のない付帯設備による使用負荷比率が高くなったことで改善分が充てられたと考えます。 ・次年度も原単位基準のCO2量削減に向けて、取組みを進めます。 							
第二年度	排出量	54,889	t-CO ₂	生産重量	4,332	単位	t	
	調整後排出量	54,674	t-CO ₂	原単位	12.67	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
27年度	削減率	-11.20	%	削減率	-0.16	%		
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量は、基準年度に比較し受注の関係から生産量が増加した事により、-11.20%という数字になりました。生産重量当たりの原単位としては、0.16%の未達成となりました。生産品種影響並びにそれに伴う付帯設備の使用負荷比率が高くなったことが要因と考えます。 ・次年度も原単位基準のCO2量削減に向けて、取組みを進めます。 							
第三年度	排出量	52,300	t-CO ₂	生産重量	4,027	単位	t	
	調整後排出量	52,027	t-CO ₂	原単位	12.99	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
28年度	削減率	-5.96	%	削減率	-2.69	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量は、基準年度に比較し受注の関係から生産量が増加した事により、-5.96%という数字になりました。生産重量当たりの原単位としては、2.69%の未達成となりました。生産品種影響並びにそれに伴う付帯設備の使用負荷比率が高くなったことが要因と考えます。 ・次年度も原単位基準のCO2量削減に向けて、取組みを進めます。 							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
26年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
27年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
28年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	5	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
28年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	6	t-CO ₂	削減率	-20	%
26年度						
排出量等の増減理由	他関連事業所への移動回数が増加した為、排出量が増加しました。					
第二年度	排出量	7	t-CO ₂	削減率	-40	%
27年度						
排出量等の増減理由	他関連事業所への移動回数が増加した為、排出量が増加しました。					
第三年度	排出量	9	t-CO ₂	削減率	-80	%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由	他関連事業所への移動回数が増加した為、排出量が増加しました。					

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	380752 LED照明の導入	26	100	26	322
2	エネ起	その他 蒸気駆動コンプレッサー導入	26	26	26	14
3	エネ起	320301 配管保温	26	150	26	307
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	9,532		262	215	273
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	49,362	1	49,236	1	54,889	1	52,300
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	49,362	1	49,236	1	54,889	1	52,300

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	4	4	4	4
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	実施していない。
その他	実施していない。

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	一定距離（1.5km）以下の自動車通勤は規制している。マイカー通勤率：95.0% 自転車通勤にも手当を支給し、駐輪場を設けている。
公共交通機関の利用促進	該当せず。
来客者の交通対策	最寄り駅から（まで）の地図を作成しており、案内看板を設置している。
物流の合理化	製品物流の輸送は空荷が発生しないように、配車コントロールを行っている。

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	I S O 14001 : 2004	2000年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内の緑化維持向上 環境に配慮した製品の開発 廃棄物の削減・分別の徹底
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 工場敷地内、外の緑化維持向上 環境に配慮した製品の設計、開発 廃棄物の排出量削減・分別の徹底
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 工場敷地内、外の緑化維持向上 環境に配慮した製品の設計、開発 廃棄物の排出量削減・分別の徹底
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 工場敷地内、外の緑化維持向上 環境に配慮した製品の設計、開発 廃棄物の排出量削減・分別の徹底

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	ボイラー燃料をA重油⇒LNGに変更実施。	1,200
その他		